



令和5年度
佐賀県立佐賀城本丸歴史館
協議会



1 令和5年度の事業実施状況



令和5年度の佐賀城本丸歴史館の主な事業

- テーマ展「梧竹の書 本野克彦コレクション」
令和5年3月17日(金)～5月14日(日)
- テーマ展「幕末蓮池藩の殿様」
令和5年7月14日(金)～9月3日(日)
- テーマ展「石川九楊賞鑑精選 だれも知らない維新 副島種臣書」
令和5年10月6日(金)～令和6年1月14日(日)
- 特別展「江藤新平」
令和6年3月15日(金)～5月12日(日)
- 季節ごとのイベント (GW・夏休み・お正月・ひなまつり)
- 定期イベント (子ども着付体験・歴史館ゼミナール)

【3頁】

展覧会(令和5年度)

No	会期	会場	展覧会名	内容	観覧者数 (入館者数)
(1)	令和5年3月 17日～5月14 日 【59日間】	御小書院 (特別展示 室)	【テーマ展】 梧竹の書 本野克彦 コレクション	令和3年に佐賀県に寄贈された「本野克彦コレクション」から、明治の三筆に数えられる中林梧竹の書を紹介した。	12,268人 (25,796人)
(2)	令和5年7月 14日～9月3 日 【52日間】	御小書院 (特別展示 室)	【テーマ展】 幕末蓮池藩の殿様	佐賀藩御三家の一つであり、かつ江戸幕府に属する「大名」でもあった蓮池藩の在り方を、幕末の藩主の肖像画や関連資料から紹介した。	12,009人 (29,399人)
(3)	令和5年10月 6日～令和6 年1月14日 【93日間】 ※展示替え閉室 期間を除く	御小書院 (特別展示 室)	石川九楊賞鑑精選 だれも知らない維新 副島種臣書	石川九楊氏の所蔵している資料を時代ごとに三期に分けて展示。 白文・書き下し文・釈文を全資料につけるほか、該当時期の書風や作品に対する石川氏のコメントパネルを用意し、書をとおして副島の思想を追った。	24,057人 (52,396人)
(4)	令和6年3月 15日～5月12 日 【59日間】	御小書院 (特別展示 室)・外御 書院二～ 四之間	【特別展】 没後150年特別展 江藤新平—日本の 礎を築いた若き稀才 の真に迫る—	「人民のために」という信念を貫いて明治日本の新たな国家づくりに尽力しながらも、佐賀戦争により霞んでしまった江藤新平の功績や人となり等を、4つの視点から改めて解き明かし、その真相に迫る。	—

【4頁】

テーマ展 梧竹の書 本野克彦コレクション

梧竹の書

本野克彦コレクション

令和5年
3/17[金]～5/14[日]

佐賀城本丸歴史館特別展示室(御小書院)

開館時間 9:30-18:00 観覧料 | 無料
問合せ先 佐賀県立佐賀城本丸歴史館
佐賀市内 2-18-1
TEL 0952-41-7550

佐賀県立博物館・佐賀県立美術館
佐賀県立歴史館
令和5年3月17日(金)～5月14日(日)
開館時間 9:30-18:00 観覧料 | 無料
問合せ先 佐賀県立佐賀城本丸歴史館
佐賀市内 2-18-1
TEL 0952-41-7550

佐賀県立佐賀城本丸歴史館
令和5年3月17日(金)～5月14日(日)
開館時間 9:30-18:00 観覧料 | 無料
問合せ先 佐賀県立佐賀城本丸歴史館
佐賀市内 2-18-1
TEL 0952-41-7550

テーマ展「梧竹の書 本野克彦コレクション」

会期: 令和5年3月17日(金)～5月14日(日) / 会場: 佐賀県立佐賀城本丸歴史館 特別展示室(御小書院)

◎展示作品一覧

No.	資料名	時代	形態等
1	藍北嶺正法齋箋	明治19年(1886) 頃60歳前後か	掛軸装 紙本墨書
2	南無観世音菩薩	明治22年(1889) 63歳	掛軸装 紙本墨書
3	龍平義之守中簡	明治30年代 70代前半	屏風(六曲一双)
4	五言句「昭憲御月筆」	明治38年(1905) 79歳	掛軸装 紙本墨書
5	五言句「秋深菊見處」	明治39年(1906) 80歳	掛軸装 紙本墨書
6	五言句「林苑百葩前」	明治43年(1908) 84歳	掛軸装 紙本墨書
7	五言聯「起晴出蒲海 白鶴立青松」	大正元年(1912) 86歳	掛軸装(対稱)
8	南無観世音菩薩	明治40年(1907) 81歳	掛軸装 紙本墨書
9	七言絶句	明治31年(1908) 72歳	扇装 紙本墨書
10	墨竹図	不詳	掛軸装 紙本墨画

※すべて佐賀県立美術館が所蔵する「本野克彦コレクション」に含まれる中林梧竹の作品です。

◎中林梧竹略年表

年	月	事
文政10年(1827)	4月10日	1歳 小城奇小野に生まれる(父経経、母富栄)
弘化2年(1845)		19歳 江戸文山里香雪に師事
明治6年(1873)	11月	47歳 「梧竹堂」を創る
明治11年(1878)		52歳 鹿児島府内熊手元元町の知遇を得て書法塾を見る
明治15年(1882)	10月	56歳 余元町に同行し福岡へ渡る
明治17年(1884)	7月	58歳 總理の洋邸伊勢参の2階に寄寓する
明治24年(1891)		65歳 明治天皇に十七帖勅書を献上し御衣を下賜される
明治28年(1895)～28年(1895)		67～69歳 東北・甲信越歴遊
明治30年(1897)		71歳 佐賀に帰郷、清田再遊
明治31年(1898)		72歳 富士山頂に「鶴園之山」剝碑を建立
明治35年(1902)		76歳 北海道旅行、車輪転書の完成
明治41年(1908)		82歳 二日村に練字堂建設、昭憲皇太后から額を賜われる
明治42年(1909)		83歳 昭憲皇太后から御衣を下賜される
大正元年(1912)		86歳 中軍を兼した半身不随となる
大正2年(1913)	8月4日	87歳 逝去、法名「梧竹堂臥鶴五雲居士」

墓所: 佐賀市小野(小野山) 墓王守(東京都港区)

【5頁】

テーマ展 幕末蓮池藩の殿様

幕末蓮池藩の殿様

令和5年七月十四日(金)～九月三日(日)

佐賀城本丸歴史館特別展示室(御小書院)

開館時間 9時～18時 観覧料無料

No.	名称	年代	寸法	所蔵
1	鍋島直正像	1868-1869	33.8×38.9	幕末時自治会蔵/佐賀県立博物館寄託
2	「一行書」(富田家資料)	1868	30.5×27.5	佐賀県立博物館蔵
3	蓮池日記 三(蓮池鍋島家文庫)	1868-1869	28.0×35.0	佐賀県立博物館蔵
4	佐賀藩本陣御殿次郎江高運池田治地蔵右衛門少将官之書紀(神代鍋島家資料)	1868-1869	27.6×18.5	本館蔵
5	蓮池日記 四(蓮池鍋島家文庫)	1868-1869	28.0×35.0	佐賀県立博物館蔵
6	鍋島主税院蓮池美子出所家系表(蓮池鍋島家文庫)	1868-1869	28.0×19.5	公益財団法人鍋島家史会蔵/佐賀県立博物館寄託
7	鍋島直正像	1868-1869	33.5×39.1	幕末時自治会蔵/佐賀県立博物館寄託
8	小城蓮池城土指留書(鍋島家文庫)	1868-1869	25.7×18.4	公益財団法人鍋島家史会蔵/佐賀県立博物館寄託
9	江戸御殿日記(神代鍋島家資料)	1868-1869	28.0×33.0	本館蔵
10	仁義礼智徳(本野克彦コレクション)	1868	104.4×28.3	本館蔵
11	蓮池藩(本野克彦コレクション)	1868	35.5×71.0	個人蔵
12	海防(本野克彦コレクション)	1868-1869	29.9×56.7	本館蔵
13	甘藷寺一位完結鍋島直正書状(本野克彦コレクション)	1868	30.2×56.1	本館蔵
14	梅屋堂縁起録(蓮池鍋島家文庫)	1868-1869	39.0×23.5	佐賀県立博物館蔵
15	梅屋堂印紙(蓮池鍋島家文庫)	1868-1869	23.0×30.0	佐賀県立博物館蔵
16	納使御勤王御状(蓮池鍋島家文庫)	1868-1869	44.0×35.0	佐賀県立博物館蔵
17	熊本守段御状一件二付江戸御殿御寄書(鍋島家文庫)	1868-1869	25.5×18.2	公益財団法人鍋島家史会蔵/佐賀県立博物館寄託
18	鍋島直正像	1868	60.0×37.0	幕末時自治会蔵/佐賀県立博物館寄託
19	東洋橋(蓮池鍋島家資料)	1868-1869	44.0×15.8×8.0	本館蔵
20	鍋島直正日記口宣書(蓮池鍋島家資料)	1868-1869	32.8×51.6	本館蔵
21	鍋島直正日記口宣書(蓮池鍋島家資料)	1868-1869	32.8×51.6	本館蔵
22	江戸幕府直安院鍋島直正日記(蓮池鍋島家資料)	1868-1869	35.8×91.6	本館蔵
23	蓮池日記 八(蓮池鍋島家文庫)	1868-1869	28.0×35.0	佐賀県立博物館蔵
24	松門の長州征伐関係記録(蓮池鍋島家文庫)	1868-1869	26.7×33.0	佐賀県立博物館蔵
25	御参内日記	1868-1869	33.4×19.0×1.2	佐賀県立博物館蔵
26	参内手続(佐賀資料)	1868-1869	21.0×13.0	佐賀県立博物館蔵
27	大旗(蓮池鍋島家資料)	1868	27.8×10.5×9.6	本館蔵
28	旗(蓮池鍋島家資料)	1868	旗丈幅37.6	本館蔵
29	旗(蓮池鍋島家資料)	1868	39.0×7.0	本館蔵
30	烏帽子(蓮池鍋島家資料)	1868	23.5×31.2	本館蔵
31	天笠(蓮池鍋島家資料)	1868	8.0×5.0	佐賀県立博物館蔵
32	屏風目録(佐賀資料)	1868-1869	17.5×27.0	佐賀県立博物館蔵
33	松平直正書状(蓮池鍋島家文庫)	1868-1869	36.0×48.5	佐賀県立博物館蔵
34	蓮池藩御勤王御状(蓮池鍋島家資料)	1868-1869	22.3×65.5	本館蔵

【6頁】



佐賀県立佐賀城本丸歴史館
〒840-0041 佐賀県佐賀市城内2-18-1 TEL 0952-41-7550 FAX 0952-09-0220



テーマ展 石川九楊賞鑑精選 だれも知らない維新 副島種臣書



石川九楊賞鑑精選 だれも知らない維新 副島種臣書

2023.10.6 [金] — 2024.1.14 [日]

佐賀県立佐賀城本丸歴史館 特別展示室(御小書院)

開館時間 9:30—18:00 観覧料 無料

Ⅰ 観覧期間	Ⅱ 観覧中期	Ⅲ 観覧後期
2023.10.6(金)—11.5(日)	11.8(水)—12.10(日)	12.13(水)—2024.1.14(日)

佐賀県立佐賀城本丸歴史館 TEL0952-41-7550 FAX0952-28-0220

石川九楊賞鑑精選 だれも知らない維新 副島種臣書

2023年10月6日(金)～2024年1月14日(日) (11月14日(日)閉館) 11月16日(金)～11月17日(土) 11月18日(日) 11月19日(月) 11月20日(火) 11月21日(水) 11月22日(木) 11月23日(金) 11月24日(土) 11月25日(日) 11月26日(月) 11月27日(火) 11月28日(水) 11月29日(木) 11月30日(金)

期	展示番号	作品名	材質	寸法 (cm)	制作年代
Ⅰ	I-1	銀葉詩丹札紙等写(六曲一風の内外装)	紙本	132.0×30.4×12	幕末-明治前期
	I-2	西條基雄和歌集*	紙本	113.0×39.0	明治5年(1872)
	I-3	五言絶句	紙本	150.3×30.5	明治10年代
	I-4	文章	紙本	135.3×41.7	明治10年代
	I-5	文章	紙本	138.0×36.0	明治10年代
	I-6	文章	紙本	141.2×40.4	明治10年代前半
	I-7	文章	紙本	113.2×39.0	明治15年(1872)
	I-8	詩集「八首其十九」	紙本	139.6×34.5	明治10年代前半
	I-9	上杉不存作	紙本	142.1×47.3	明治10年代後半
	I-10	熊鷹谷書	紙本	173.5×94.4	明治10年代後半
	I-11	天海人自在天抄	紙本	103.0×26.4	明治10年代後半
	I-12	日月泉記分四白	紙本	48.0×149.0	明治17年(1874)
	I-13	新撰御成敗式目	紙本	138.0×38.2	明治17年(1874)
	I-14	副島種臣評話*	紙本	67.2×68.1	
Ⅱ	II-1	江古澤三書其一	紙本	139.6×34.2	明治10年代後半
	II-2	幸白外遊子	紙本	133.5×39.0	明治10年代後半
	II-3	御前御前	紙本	150.8×39.5	明治10年代後半
	II-4	月夜美人	紙本	149.4×39.0	明治10年代後半
	II-5	評話	紙本	180.2×36.7	明治10年代後半
	II-6	文章	紙本	132.3×34.3	明治10年代後半
	II-7	不動明王	紙本	49.0×190.0	明治10年代後半
	II-8	東方大庭宮	紙本	147.0×31.6	明治10年代後半
	II-9	夜宮御前御前	紙本	153.0×16.6	明治14年(1881)
	II-10	紅梅雨江村御前	紙本	139.2×39.3	明治18年(1885)
	II-11	御前御前御前	紙本	177.1×32.4	明治10年代後半
	II-12	御前御前御前御前御前	紙本	130.0×47.2	明治10年代後半
	II-13	御前御前御前御前御前	紙本	137.0×32.4	明治10年代後半
	II-14	夕白下曲六首其五	紙本	152.0×39.8	明治10年代後半
	II-15	大友堂下書	紙本	134.8×52.6	明治10年代後半
	II-16	三書御前御前	紙本	20.0×181.0	明治19年(1886)
	II-17	歌紙	紙本	38.8×186.0	明治18年(1885)
Ⅲ	III-1	十月十一夜	紙本	134.5×32.0	明治20年代
	III-2	七言二句	紙本	150.4×31.0	明治20年代後半
	III-3	論語子学第九	紙本	173.6×33.6	明治20年代後半
	III-4	和歌巻成巻御前御前御前御前	紙本	138.3×35.4	明治20年代
	III-5	和歌巻成巻御前御前御前御前御前	紙本	137.0×38.5	明治20年代
	III-6	和歌巻成巻御前御前御前御前御前御前	紙本	123.1×42.6	明治20年代後半
	III-7	夫人一増御前御前	紙本	150.0×38.0	明治20年代後半
	III-8	玉姫御前御前御前御前御前御前御前	紙本	139.8×31.0	明治20年代後半
	III-9	和歌巻成巻御前	紙本	127.4×37.2	明治20年代後半
	III-10	和歌巻成巻御前	紙本	117.2×42.5	明治20年代後半
III-11	和歌巻成巻御前御前御前御前御前御前御前	紙本	130.0×39.0	明治20年代後半	
III-12	和歌巻成巻御前御前御前御前御前御前御前	紙本	137.3×37.1	明治20年代後半	
III-13	和歌巻成巻御前御前御前御前御前御前御前	紙本	130.0×48.4	明治20年代後半	
III-14	和歌巻成巻御前御前御前御前御前御前御前	紙本	137.3×41.0	明治20年代後半	
III-15	和歌巻成巻御前御前御前御前御前御前御前	紙本	135.0×31.1	明治20年代後半	
III-16	和歌巻成巻御前御前御前御前御前御前御前	紙本	142.2×41.6	明治27年(1894)	
III-17	和歌巻成巻御前御前御前御前御前御前御前	紙本	34.8×120.4	明治30年代前半	

【7頁】

没後150年特別展 江藤新平—日本の礎を築いた若き稀才の真に迫る—

2024 3.15 FRI ▶ 5.12 SUN 佐賀県立佐賀城本丸歴史館 開館 9時30分～18時 〒840-0041 佐賀市内2丁目18-1

観覧無料

日本の礎を築いた 若き稀才の真に迫る

没後150年特別展

江藤新平

江藤新平からの挑戦状! 謎解き宝探し

江藤新平って実け... 投稿キャンペーン

意外な一面発掘!

謎解き宝探し

江藤新平って実け... 投稿キャンペーン

参加無料

映像展示や歴史資料から稀才・江藤新平の 功績を実感する特別展

「日本の礎を築いた若き稀才・江藤新平」は、明治維新の立役者として知られる。本展では、その功績を実感するための特別展を開催する。映像展示や歴史資料から、江藤新平の功績を詳しく紹介する。また、謎解き宝探しや投稿キャンペーンなど、参加型のイベントも実施する。ぜひご来館ください。

謎解き宝探し

江藤新平って実け... 投稿キャンペーン

参加無料

謎解き宝探し

江藤新平って実け... 投稿キャンペーン

参加無料

謎解き宝探し

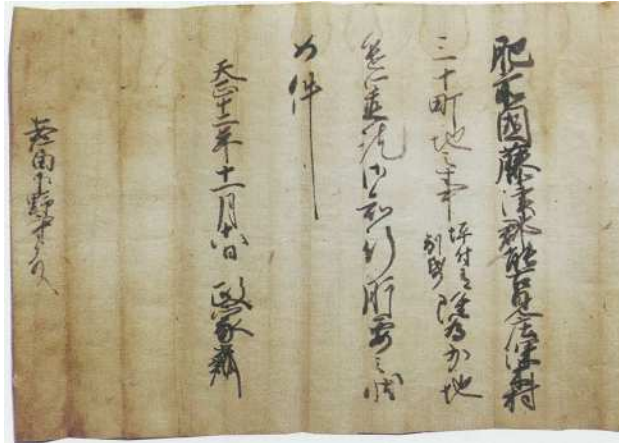
江藤新平って実け... 投稿キャンペーン

参加無料

【8頁】

資料収集(令和5年度)

<p>寄贈</p>	<p>➤ エンフィールド銃 佐賀の乱(佐賀戦争)で使用したと伝わるエンフィールド銃。 多久安順家来で関ヶ原の戦い後の柳川攻めで戦死した岩本助左衛門を祖とする岩本家伝来。</p> <p style="text-align: right;">合計 1件 1点</p>
<p>購入</p>	<p>➤ 龍造寺政家知行宛行状 1点 800,000円 天正12年(1584年)11月18日付けで、安富下野守(純泰)に対して肥前国藤津郡能古見庄深木村30町を宛行う、という内容。</p> <p style="text-align: right;">合計 1件 1点</p>



龍造寺政家知行宛行状

【9頁】

調査研究(令和5年度)

研究紀要刊行

佐賀県立佐賀城本丸歴史館 研究紀要 第19号
令和6年3月刊行予定

- 野下俊樹【史料紹介】「中川藤次郎関係資料」
- 谷頭舞姫【史料紹介】「副島種臣関係資料」
- 齋藤洋子・星原大輔
【史料翻刻】「江藤新作関係文書」(江藤兵部氏所蔵資料(於川浪氏宅撮影))(八)

【10頁】

調査研究(令和5年度)

その他の研究活動、委員派遣、支援・協力等

七田忠昭

- ゆめさが大学(佐賀校・唐津校・鹿島校・鳥栖校)講師
- 吉野ヶ里遺跡弥生時代・古代調査指導委員会委員長
- 神崎市 歴史まちづくり遺産審議委員会 委員長
- 神崎市文化財保護審議会副会長
- 唐津市文化財保護審議会委員
- 唐津市末盧国遺跡群調査指導委員会委員
- 小城市土生遺跡調査委員会委員長
- 吉野ヶ里学研究会 シンポジウム「吉野ヶ里遺跡の調査と発掘調査速報」パネリスト
- 土生遺跡国史跡指定50年記念展で記念講演

古川英文

- 相良知安文書会読会への参画
- 上峰町ふれ愛・粋いきセミナー&女性セミナー「佐賀の偉人伝」講演
- 楠公祭「佐賀城本丸クラシックスについて」講演
- 佐賀新聞社ランチ佐賀「地方の出版とグローバリズム」講演

武谷和彦

- 専門分野 考古学・中近世城郭・肥前名護屋城と諸大名陣屋の調査研究
- 三重津海軍所跡保存整備指導委員会オブザーバー【佐賀市(歴史・文化課)】

【11頁】

調査研究(令和5年度)

その他の研究活動、委員派遣、支援・協力等

藤井祐介

専門分野 日本近世史

- 【論文】「鍋島光茂の「御家」継承にみる「藩祖」顕彰と「武威」、中野等編『中近世九州・西国史研究』(吉川弘文館、2024年3月)
- 【研究発表】「鍋島佐賀藩の成立と「一門」」(山口県地方史学会創立70周年記念シンポジウム(プレ企画)「諸藩における家臣「一門」」、オンライン、2023年9月24日)
- 【寄稿】「鉄道人歴史紀行 大隈重信ゆかりの地を訪ねて」、『汎交通』2023年度第IV号(交通新聞社、2024年3月)
- 【歴史考証支援】県民だより「佐賀偉人列伝 江藤新平伝」(広報広聴課)
- 佐賀県「歴史の道」調査事業調査指導員会議オブザーバー(文化財保護・活用室)
- 放送大学非常勤講師(面接授業「武士の生き方、『葉隠』の世界」)

秋山沙也子

専門分野 近現代美術

- 【研究発表】「池田学《誕生》にまつわる語りの所在をめぐって」(第108回九州藝術学会、筑紫女学園大学、2023年7月1日)
- 第73回佐賀県美術展覧会 ポスター審査委員(2023年7月5日)
- 「関係するアート展」(主催:佐賀県文化課/会場:佐賀県立博物館)シンポジウムパネリスト(佐賀県立博物館、2023年9月24日)

【12頁】

調査研究(令和5年度)

その他の研究活動、委員派遣、支援・協力等

野下俊樹

専門分野 日本中世史

- 【論文】「中世後期有明海沿岸地域の学際的研究－佐賀平野の構造的特質－」
(野下ほか四名共著、『公益財団法人鍋島報効会研究助成 研究報告書』11号、2023年9月)
- 【研究発表】「永享期における大内氏の政治的位置－大内持世の評価をめぐって－」
(七隈史学会第25回大会、福岡大学、2023年9月23日)
- 東京大学史料編纂所共同利用・共同研究拠点特定共同研究「近世大名家臣家史料の「読み直し」と研究資源化」(2023～2024年度／研究代表者 小宮木代良)共同研究員

谷頭舞姫

専門分野 美術工芸

【13頁】

ゴールデンウィークイベント(令和5年度)

No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	4月29日(土・祝)	昔風写真体験	一之間・二之間	117人
2	5月3日(水・祝)、 5月4日(木・祝)	鍋島小紋柄を使った こいのぼりづくりWS	二之間・三之間	205人
3	5月5日(金・祝)	甲冑体験	一之間・二之間	21人
4	5月6日(土)	子ども着付体験	一之間・二之間	37人
5	4月29日(土・祝) ～5月7日(日)	昔遊びコーナー	四之間	—

オリジナルこいのぼりづくり



昔風写真体験



甲冑体験



【14頁】

夏休みイベント(令和5年度)

No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	7月22日(土) 8月5日(土)	夜の本丸探検隊	館内	189人
2	8月11日(金・祝) 8月12日(土)	染め和紙のうちわづくり	二之間・三之間	382人
3	8月1日(日)	開館記念カノン砲祝砲イベント	館外	80人
4	8月1日(日)	れきし紙芝居	三之間	33人
5	8月1日(日)	学芸員によるテーマ展解説	御小書院	20人
6	7月22日(土)～8月13日(日)	昔遊びコーナー	四之間	—
7	7月22日(土)～8月31日(木)	風鈴飾り	御玄関	—
8	7月22日(土)～8月31日(木)	うちわ絵展示	北廊下	—
9	7月22日(土)～8月31日(木)	夏限定クイズラリー	館内	—

夜の本丸探検隊



染め和紙のうちわづくり



カノン砲祝砲



れきし紙芝居



【15頁】

お正月イベント(令和5年度)

No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	1月2日(火)	凧づくり体験	館外	196人
2	1月2日(火)	書初め体験	館外	293人
3	1月2日(火)	大筆書き	館外	—
4	1月2日(火)	ちぎり和紙でオリジナル絵馬をつくろう WS	二・三之間	168人
5	1月3日(水)	本丸ハイハイレース	外御書院	117人
6	1月3日(水)	葉隠太鼓保存会による迎春太鼓	御式台	—
7	1月2日(火)・3日(水)	昔遊びコーナー	四之間	—
8	12月15日～1月15日	鼓の胴の松飾り	御玄関前	—

凧づくり体験



大筆書き



本丸ハイハイレース



迎春太鼓



【16頁】

ひなまつりイベント(令和5年度)

No	月日	イベント名	会場	参加人数
1	2月10日(土)～3月3日(日)	おひなさまフォトスポット	二之間	※1※2を参照
2	2月10日(土)～3月3日(日)	第10回 子どもびなの宴 ※主催:佐賀城下ひなまつり実行委員会	外御書院	※1※2を参照
3	2月10日(土)～3月3日(日)	特別展示「十四代今泉今右衛門の宴」 ※主催:佐賀城下ひなまつり実行委員会主催	東廊下	※1※2を参照
4	2月17日(土)	なぞときゲーム「本丸からの挑戦状」	館内・館外	17組27人
5	2月23日(金・祝)～2月24日(土)	ワークショップ「おひなさまポップアップカードづくり」	御座間・堪忍所	23日150人 24日100人
6	3月2日(土)	子ども着付体験	御座間・堪忍所	45人
7	3月3日(日)	和装でおもてなし	御式台付近	—
8	3月3日(日)	ひなまつりプレゼント	御玄関	先着100名

※1 期間中(2/10～3/3)の来館者数:18,697人(1日平均813人)

※2 期間中(2/10～3/3)土日祝のみの来館者数:11,052人(1日平均1,228人) (期間前後の平均入館者数:470人)



【17頁】

来館者累計400万人記念式典(令和5年度)

日時	内容	会場	400万人目の来館者
令和6年1月15日(月) 11時15分～	<ul style="list-style-type: none"> ・証明書授与 ・記念品贈呈 ・インタビュー ・記念写真撮影 	御式台	400万人目の来館者:阿部美弥さん(31歳、会社員)と荒木知貴さん(29歳)

○達成の経過

累計来館者数について

平成21年に100万人、平成27年に200万人、平成30年に300万人、令和元年に350万人に達した。開館から20年目に400万人を達成。

○450万人達成について

令和8年(2026年)4月～6月の間に達する見込み。



【18頁】

歴史館ゼミナール(令和5年度)

No	月日	講師(敬称略)及び演題	聴講者数
219	4月15日(土)	古川英文(佐賀城本丸歴史館 副館長) 芸術家の誕生!—中林梧竹の書	82人
220	5月13日(土)	白石直樹(柳川古文書館 学芸員) 有明海と柳川藩・佐賀藩	85人
221	6月24日(土)	重松 優(昭和女子大学 准教授) 佐賀城本丸クラシックス3出版記念講演会「大木喬任伝記資料談話筆記を読む」	106人
222	7月15日(土)	野下俊樹(佐賀城本丸歴史館 学芸員) 幕末の蓮池藩と佐賀藩	110人
223	8月19日(土)	植野かおり(立花家資料館 館長) 大名家正室の婚礼調度—徳川家から降嫁した姉妹 筆姫と純姫の場合—	83人
224	9月16日(土)	伊藤昭弘(佐賀大学地域学歴史文化研究センター長) 佐賀藩文政七年の政変について	96人
225	10月28日(土)	石川九楊(京都精華大学 名誉教授) 石川九楊講演会「だれも知らない明治維新」	219人
226	11月18日(土)	福井尚寿(佐賀県立博物館・佐賀県立美術館 館長) 蒼海副島種臣—全心の書—	63人
227	12月23日(土)	谷頭舞姫(佐賀城本丸歴史館 学芸員) よくみて蒼海 展示作品の楽しみ方	63人
228	1月27日(土)	武谷和彦(佐賀城本丸歴史館 企画学芸課長) 佐賀城を知る。	100人
229	2月24日(土)	武谷和彦(佐賀城本丸歴史館 企画学芸課長) 佐賀城本丸跡を歩き見る。	74人
230	3月30日(土)	藤井祐介(佐賀城本丸歴史館 学芸担当係長) 江藤新平、日本の礎を築く	(3/25時点 未開催)
		(計)※2月まで	1081人

※新型コロナ対策のため聴講は10月まで予約制(定員約100名、10月講演会は約200名)
11月から自由(定員約100名)

【19頁】

出前講座(令和5年度-1)

※庁内研修会を含む。

No	月日	主催者・会場・講座名等	派遣	演題	人数
1	5月12日(金)	佐賀私立中学高等学校協会/ホテルニューオータニ佐賀/九州地区私立中学高等学校協議会記念講演	七田	女王卑弥呼の宮殿を探る—吉野ヶ里遺跡の発掘と邪馬台国論争の行方—	50人
2	5月18日(金)	NPO法人高遊外売茶翁顕彰会/肥前通仙亭/佐賀おもしろ学講座	藤井	島義勇がみた蝦夷地、そして日本	50人
3	6月20日(火)	佐賀市民活動団体 都市美会/佐賀市立図書館/佐賀市民活動団体 都市美会講座	武谷	肥前名護屋城と諸大名陣	22人
4	6月24日(土)	日新まちづくり協議会/佐賀市立日新公民館/歴史講演会	野下	領主から戦国大名へ 古文書に見る、中世龍造寺氏の発展	40人
5	7月7日(金)	佐賀市立東与賀公民館/東与賀農村環境改善センター/人生いきいき講座	七田	吉野ヶ里遺跡の発掘から見えてきた邪馬台国の姿	25人
6	7月18日(火)	伊万里市立大川内小学校/伊万里市立大川内小学校/社会科学習(歴史学習)	七田	吉野ヶ里遺跡の発掘が教えてくれたもの	35人
7	8月24日(木)	博愛の里中川副まちづくり協議会/中川副公民館/成人学級講座	藤井	「高輪築堤」と大隈重信	30人
8	8月26日(土)	武雄歴史研究会/武雄市文化会館/武雄歴史研究会令和5年度第2回例会	古川	書の鑑賞	30人
9	9月13日(水)	佐賀市立春日公民館/佐賀市立春日公民館(オンライン:北川副公民館・諸富町公民館)/春日さが学	藤井	高輪築堤の英断と大隈重信の推進力	60人
10	9月23日(土)	正法寺/正法寺/彼岸会講演	藤井	武士の生き方、「葉隠」の世界	25人

【20頁】

出前講座(令和5年度-2)

※庁内研修会を含む。

No	月日	主催者・会場・講座名等	派遣	演題	人数
11	9月26日(火)	佐賀市立日新公民館／佐賀市立日新公民館／日新さが学講座	藤井	江藤新平ー明治の立役者は志半ばで最期を迎えたー	40人
12	10月4日(水)	諸富町公民館・北川副公民館／諸富町公民館／さが学講座	七田	佐賀藩士の履歴書 激動の幕末維新期をいかに生き抜いたか	30人
13	10月5日(木)	西日本工業 むつみ会／西日本工業倶楽部／例会	七田	吉野ヶ里遺跡の発掘から見えてきた女王卑弥呼の宮殿	40人
14	10月12日(木)	佐賀市立開成公民館／佐賀市立開成公民館／開成さが学講座	藤井	鍋島直正と幕末佐賀藩	30人
15	10月22日(日)	佐賀県文化課／佐賀城公園／第6回維新まつり まつりキッズ学習会	藤井	江藤新平の5つのすごいところ	20人
16	10月23日(月)	佐賀市立春日公民館／佐賀市立春日公民館(オンライン:北川副公民館・諸富町公民館)／春日さが学	藤井	発掘調査でみえた高輪築堤のすがた	60人
17	10月26日(木)	NPO法人高遊外売茶翁顕彰会／肥前通仙亭／佐賀おもしろ学講座	野下	幕末の蓮池藩と佐賀藩	50人
18	11月15日(水)	サンコーコンサル株式会社／佐賀県市町会館／研修会	武谷	佐賀城を知る。	11人
19	11月16日(木)	佐賀市立新栄公民館／歴史講座	七田	佐賀藩士の履歴書 激動の幕末維新期をいかに生き抜いたか	30人
20	11月22日(水)	春日北公民館／春日北令和塾まbee	武谷	肥前名護屋城と諸大名陣	22人
21	11月28日(火)	基山町商工会／商工会館／基山経済クラブ」研修会	七田	吉野ヶ里遺跡の発掘から見えてきた邪馬台国の姿	25人

【21頁】

出前講座(令和5年度-3)

※庁内研修会を含む。

No	月日	主催者・会場・講座名等	派遣	演題	人数
22	12月21日(木)	鹿島史談会／鹿島市生涯学習センターエイブル／鹿島史談会例会	藤井	「高輪築堤」と大隈重信	30人
23	1月12日(金)	ENEOSグローバルエナジー／マリトピア／新春賀詞交換会講演	七田	中国皇帝に弥生人160人の貢いだ倭国王帥升の正体	50人
24	1月17日(水)	佐賀市社会福祉協議会／佐賀市大和老人福祉センター／大和いきがい文化講座	野下	御家交代の虚実ー龍造寺から鍋島へー	40人
25	1月22日(月)	佐賀市立赤松公民館／佐賀市立赤松公民館／さが学講座	藤井	高輪築堤の英断と大隈重信の推進力	30人
26	2月2日(金)	一般社団法人建設業協会佐賀／建設業協会佐賀／土木施工管理技士会研修	武谷	佐賀城の歴史	30人
27	2月13日(火)	久保田町中副自治会公民館／中副ふれあいサロン	野下	領主から戦国大名へ 古文書に見る、中世龍造寺氏の発展	30人
28	2月17日(土)	孔子の里／東原庫舎／多久の歴史と文化を学ぶ講座	野下	戦国時代の龍造寺氏と多久	20人
29	2月20日(火)	佐賀市民活動団体 都市美会／佐賀市立図書館／佐賀市民活動団体 都市美会講座	秋山	佐賀の美術界を拓いたパイオニア、百武兼行・久米桂一郎・岡田三郎助	25人
30	3月14日(木)	上峰町公民館／上峰町民センターホール／ふれ愛・絆いきセミナー・女性セミナー合同講座	古川	佐賀の偉人伝	40人
				(計)	1020人

【22頁】

「佐賀偉人伝」出版事業(令和5年度)

出版概要	No	書名	著者名(敬称略)	初版刊行年月	発行部数(販売分)	販売部数計(R6年1月末まで)	令和5年度販売数(R5.4.1~R6.1.31)
	01	鍋島直正	杉谷 昭	平成22年11月刊	8,000部	6,377部	81部
	02	大隈重信	島 善高	平成23年1月刊	6,500部	5,511部	35部
	03	岡田三郎助	松本誠一	平成23年3月刊	5,000部	4,285部	21部
	04	平山醇左衛門	川副義敦	平成23年9月刊	3,500部	2,268部	2部
	05	島 義勇	榎本洋介	平成23年12月刊	5,000部	3,322部	35部
	06	大木喬任	重松 優	平成24年2月刊	3,500部	2,309部	28部
	07	江藤新平	星原大輔	平成24年9月刊	5,000部	3,402部	68部
	08	辰野金吾	清水重敦・河上眞理	平成26年3月刊	3,500部	2,922部	105部
	09	佐野常民	國 雄行	平成25年3月刊	3,500部	2,522部	35部
	10	納富介次郎	三好信浩	平成25年10月刊	3,500部	1,168部	23部
	11	草場佩川	高橋博巳	平成25年12月刊	3,500部	1,404部	24部
	12	副島種臣	森田朋子・齋藤洋子	平成26年2月刊	3,500部	2,471部	59部
	13	伊東玄朴	青木歳幸	平成26年11月刊	3,500部	1,053部	16部
	14	枝吉神陽	大園隆二郎	平成27年1月刊	3,500部	1,229部	18部
	15	古賀穀堂	生馬寛信	平成27年3月刊	3,500部	1,321部	22部
				64,500部	41,564部	572部	
促進販売	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 雑誌広告 ➤ 全巻購入者に、全巻収納用ケースの製作と贈呈。 ➤ 講演会等の開催。 						【23頁】

「佐賀県人名辞典」出版事業(令和5年度)

- 目的** 「佐賀偉人伝」の普及推進の一環として、より多くの人物に対する関心や調査に応えるために、古代から近代の佐賀県ゆかりの人物についての基本情報を収録した「佐賀県人名辞典」を出版する。
「佐賀偉人伝」の補完的な役割を担わせ、幕末明治期の枠に収まらず、より多くの人物についての情報を提供することを目的とする。
- 内容**
- 電子書籍での出版。
 - 期間をおいて紙媒体出版(研究者や有識者の指摘を受けた上で)。
 - 体裁:A5判・566頁・上製・函入(予定)
 - 収録人数:令和6年度中に人物項目約15を公開する予定(進捗に応じて段階的にWEB公開する。)
 - 委員会による人物選定作業の過程で人名リスト、コラム等を含む規模拡大
 - 内容:人物情報、参考文献、肖像写真
 - 読者対象:高校生以上

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
4月		編集委員会				475人分をHPアップ		54人分をHPアップ	41人分をHPアップ	10人分をHPアップ	15人分をHPアップ(予定)
5月	編集委員会		編集委員会								
6月		編集委員会									
7月		編集委員会		編集委員会		編集委員会					編集委員会(予定)
8月			編集委員会								
9月	編集委員会										
10月					編集委員会						
11月	編集委員会		編集委員会								
12月			編集開始								
1月	編集委員会	編集委員会	校正作業開								
2月				編集委員会						編集委員会	
3月	編集委員会	原稿1部入手		371人分をHPアップ	編集委員会	編集委員会			編集委員会		編集委員会(予定)

「佐賀城本丸クラシックス」出版事業(令和5年度)

- 目的** 明治維新150年事業によって佐賀の偉人たちへの関心が高まるなか、七賢人を中心とした人物たちの一次的な資料(日記、書簡、談話など)を出版することによって、より深い関心と研究を醸成し、維新博レガシー継承事業としての役割を果たしていく。さらに本丸歴史館の偉人顕彰という役割の一端を担っていく。
- 必要性** 薩長土をはじめとした幕末明治の一次資料(日記、談話、全集など)の出版物の多さに比して、佐賀藩に関するものはなはだ乏しいのが実情である。長期的視野で佐賀の幕末維新の認知を高めるためには、基礎文献を整備することで広く普及を担う人々(作家や研究者、メディア関係)への材料提供は欠くことはできない。
- 内容**
- 紙媒体出版(R2以降)
 - 体裁:菊判(221×152mm)・300頁～500頁内外・上製本・貼函
 - 想定読者:作家、研究者、メディア関係等
- 実績**
- R2年度 佐賀城本丸クラシックス1「島義勇入北記」 令和3年3月7日(日)発刊
R3年度 佐賀城本丸クラシックス2「江藤新平関係書翰」 令和4年3月30日(水)発刊
R4年度 佐賀城本丸クラシックス3「大木喬任伝記資料談話筆記」 令和5年3月発刊

計 画

R2年度以降

右記のようなラインナップで2年毎に1冊の出版を計画する。(R5年度は発刊無)

R2年度 第1巻 島義勇入北記(R3.3.7発刊済)
R3年度 第2巻 江藤新平関係書翰(R4.4.7発刊済)
R4年度 第3巻 大木喬任伝記資料談話筆記(R5.3月発刊)
R6年度 第4巻 相良知安関係文書

【25頁】

博学連携等(令和5年度)

No	活動項目	活動内容
1	職場体験受入	佐賀市立東与賀中学校2年生 4名 佐賀市立城東中学校2年生 3名 佐賀市立城北中学校2年生 2名
2	佐賀市立赤松小学校 コミュニティ・スクール 事業への支援	「本丸歴史クラブ」活動(年4回)への支援 「しゃちの門コミュニティ」の学習について3年生の見学質問に対応 「赤松コミュニティ感謝」の集いに参加 「地域の歴史」について5年生の総合学習の時間に来館対応
3	うちわ絵	夏イベント関連で、龍谷こども園(年長組)にうちわ絵の作成を依頼。 館内で展示を行った。

【26頁】

共催事業・その他の教育普及活動(令和5年度)

No	活動項目	活動内容
1	生花展示	御座間の1年間の生け花を佐賀県華道連合会に委託している。来館者の方からの評判もよい。
2	子ども着付体験	毎月第1土曜日に実施している。令和5年度は新型コロナの影響が少なくなったので7月～9月を除いて毎月実施し、計310人が参加。
3	紙芝居	小学校等来館時に希望に応じて、また、夏休み期間中に子どもを対象に佐賀城本丸ボランティアが紙芝居を実施し、楽しく佐賀の歴史を学んでもらう。令和5年度は8月1日に1回実施した。
4	お城たんけんクイズラリー	子どもを対象に常時実施している。小学生低学年用と高学年用に2種類の問題を用意している。また、特別展、テーマ展開催中は、関連した特別バージョンのクイズラリーを実施している。
5	子どもびなの宴	佐賀市内の小・中学生が作成したひな人形を、佐賀城本丸歴史館の外御書院に展示する。令和5年度は第10回目であり、2月10日～3月3日に実施。小学校20校、中学校1校(1615名と1グループ)参加。※主催:佐賀城下ひなまつり実行委員会

【27頁】

佐賀城本丸ボランティア(令和5年度)

1 佐賀城本丸ボランティア

➤ 登録人数

66名(令和6年3月1日現在)

➤ 主な活動内容

ア 展示資料、復元建物、周辺史跡等の案内

イ 各種イベント等補助

ウ 館に対する意見及び提案

エ お世話係会(月1回)

2 各ボランティア団体との連携

➤ 佐賀県観光ボランティアガイド連絡協議会研修会(10月/吉野ヶ里公園)

➤ 佐賀県観光ボランティアガイド連絡協議会県外研修会(3月/福岡県柳川市)

➤ 九州観光ボランティアガイド研修会 ※感染症拡大防止のため活動なし

3 その他活動

➤ 佐賀城石垣周辺の清掃活動(7月、10月) ※7月は荒天のため中止

➤ 館外研修会(11月、長崎県長崎市)

➤ ボランティア自主企画により作成した紙芝居の実施(夏イベント期間中に実施)

➤ ボランティアによる手作りプレゼント(GW/開館記念日/ひなまつり)

【28頁】

施設貸出(令和5年度)

行事名	月日あるいは期間	場所	主催者
「幕末・維新 佐賀の八賢人おもてなし隊」による寸劇実施事業	令和5年4月2日～9月24日の毎週日曜日(休館日を除く)	外御書院、御座間	一般社団法人 魅力発掘プロデュース協会
令和5年度県政功労者知事表彰式及び令和5年春の叙勲伝達式	令和5年5月8日、5月9日	外御書院	佐賀県政策部秘書課
第11回 鍋島家ゆかりの会	令和5年6月4日	外御書院	鍋島家ゆかりの会
日本塑性加工学会九州支部 第108回技術懇談会・見学会	令和5年7月28日	外御書院	一般社団法人日本塑性加工学会九州支部
「幕末・維新 佐賀の八賢人おもてなし隊」による寸劇実施事業	令和5年10月1日～令和6年3月31日の毎週日曜日(休館日を除く)	外御書院、御座間	一般社団法人 魅力発掘プロデュース協会
令和5年秋の叙勲伝達式	令和5年11月7日、11月8日	外御書院	佐賀県政策部秘書課
多文化共生に関する地域づくりイベント	令和5年11月19日	外御書院	佐賀県地域交流国際課
第7回佐賀県児童生徒ふるさと学習コンクール表彰式	令和5年12月2日	外御書院	佐賀県教育委員会事務局 学校教育課
第7回佐賀さいこう!企画甲子園企画コンテスト	令和5年12月9日、12月10日	外御書院	佐賀県地域交流部さが創生推進課
佐賀市伝統文化茶道およびお箏こども教室発表会	令和5年12月15日、12月16日	外御書院	茶道文化こども教室
佐賀かるた大会	令和5年12月17日	外御書院	さがみらいく
佐賀県庁仕事始め式	令和6年1月3日、1月4日	外御書院	佐賀県政策部秘書課
鍋島直正公の生誕210年行事 豫章を吟じる会	令和6年1月8日	外御書院	NPO九州佐賀プロジェクト
令和5年度新春百人一首カルタ大会	令和6年1月9日	外御書院	佐賀西高等学校
池坊佐賀市連合会 初生け会	令和6年1月12日～1月14日	外御書院	池坊佐賀市連合会
佐賀城本丸新春舞踊公演	令和6年1月28日	外御書院	佐賀舞踊の会

【29頁】

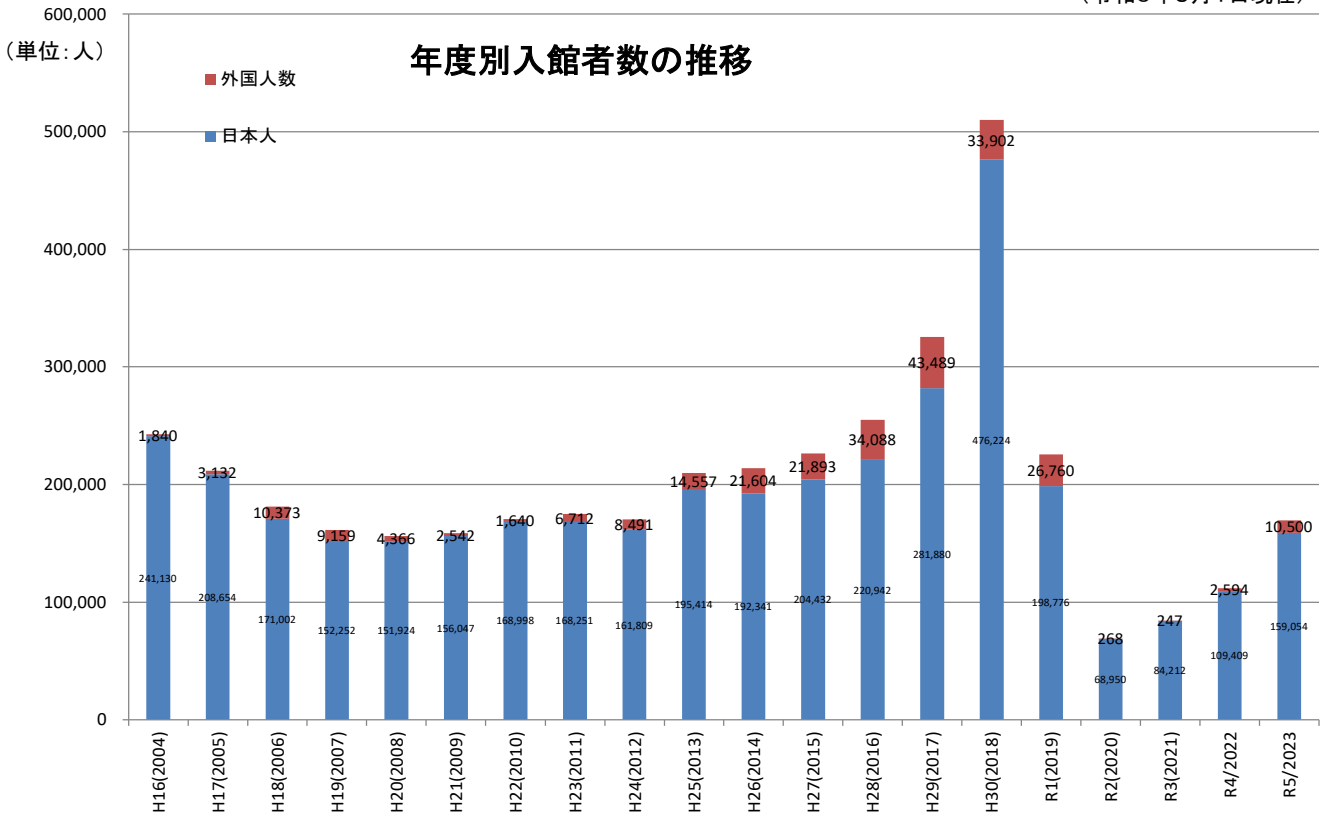
入館者状況 (年度別)

年度	入館者数 ①	開館日数 ②	1日平均 ①/②	団体客数 ③	③/① *100	団体数 ④	1団体平均 ③/④	英語圏	韓国語圏	簡体字圏	繁体字圏	外国人 ⑤	⑤/① *100
H16/2004	242,970	240	1012.4	88,368	36.4	2,873	30.8	774	657	225	184	1,840	0.8
H17/2005	211,786	355	596.6	98,972	46.7	3,294	30.0	1,305	1,171	362	294	3,132	1.5
H18/2006	181,375	355	510.9	82,650	45.6	2,671	30.9	1,175	939	311	7,948	10,373	5.7
H19/2007	161,411	358	450.9	75,795	47.0	2,511	30.2	985	1,222	341	6,611	9,159	5.7
H20/2008	156,290	357	437.8	53,819	34.4	1,913	28.1	1,195	1,385	545	1,241	4,366	2.8
H21/2009	158,589	357	444.2	48,663	30.7	1,665	29.2	942	601	373	626	2,542	1.6
H22/2010	170,638	357	478.0	50,930	29.8	1,722	29.6	328	980	200	132	1,640	1.0
H23/2011	174,963	360	486.0	52,067	29.8	1,738	30.0	1,045	3,473	533	1,661	6,712	3.8
H24/2012	170,300	348	489.4	43,052	25.3	1,442	29.9	1,012	3,043	712	3,724	8,491	5.0
H25/2013	209,971	357	588.2	45,047	21.5	1,644	27.4	976	2,222	619	10,740	14,557	6.9
H26/2014	213,945	362	591.0	55,134	25.8	1,984	27.8	1,373	6,399	921	12,911	21,604	10.1
H27/2015	226,325	357	634.0	49,718	22.0	1,861	26.7	1,419	6,110	1,194	13,170	21,893	9.7
H28/2016	255,030	326	686.7	58,755	23.0	2,194	26.8	1,533	11,512	2,958	18,085	34,088	13.4
H29/2017	325,369	362	898.8	72,409	22.3	2,611	27.7	1,254	12,662	4,619	24,954	43,489	13.4
H30/2018	510,126	362	1409.2	95,949	18.8	2,555	37.6	1,276	10,590	4,581	17,455	33,902	6.6
R1/2019	225,536	357	631.8	44,285	19.6	1,668	26.5	1,893	3,534	6,342	14,991	26,760	11.9
R2/2020	69,218	341	203.0	7,900	11.4	218	36.2	212	8	44	4	268	0.4
R3/2021	84,459	360	234.6	8,119	9.6	253	32.1	221	7	16	3	247	0.3
R4/2022	112,003	358	312.9	16,705	16.7	642	26.0	1,008	298	154	1,134	2,594	0.6
R5/2023	169,554	358	473.6	22,767	13.4	835	29.6	2,050	2,677	1,496	4,277	10,500	0.2
計	3,834,580	6,582	582.6	1,044,798	27.2	35,304	29.6	19,640	66,652	24,986	135,309	246,587	6.4

【30頁】

入館者数の推移（年度別）

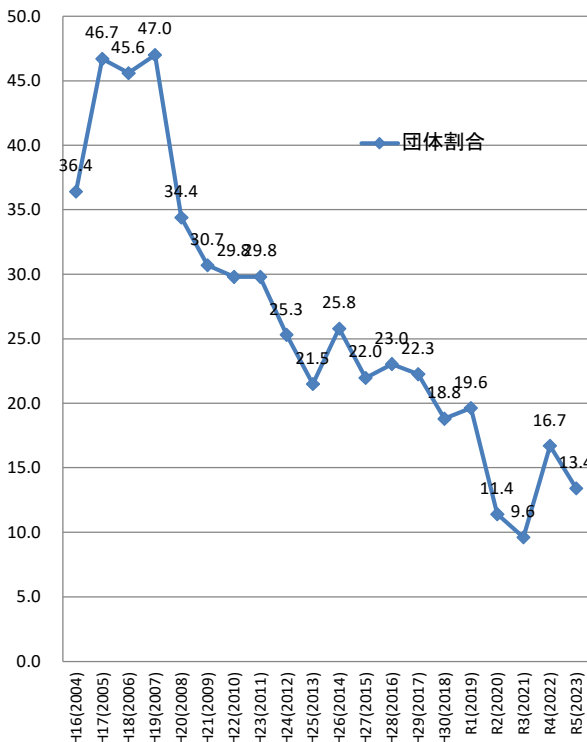
（令和6年3月1日現在）



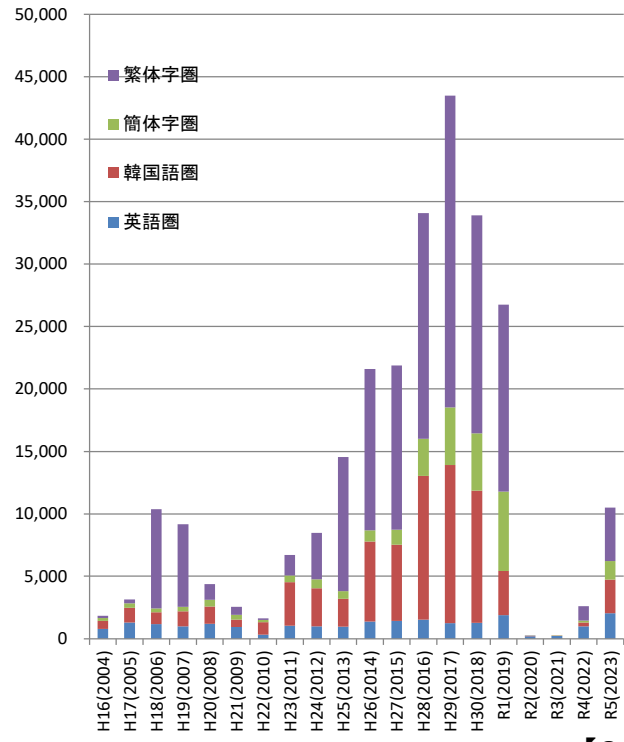
【31頁】

入館者の推移（年度別／団体・外国人）

入館者に対する団体入館者の割合の推移〔単位：%〕
（令和6年3月1日現在）



外国人入館者の推移
（パンフレット配布数）〔単位：枚〕
（令和6年3月1日現在）



【32頁】

入館者状況（令和5年度 月別）

（令和6年3月1日現在）

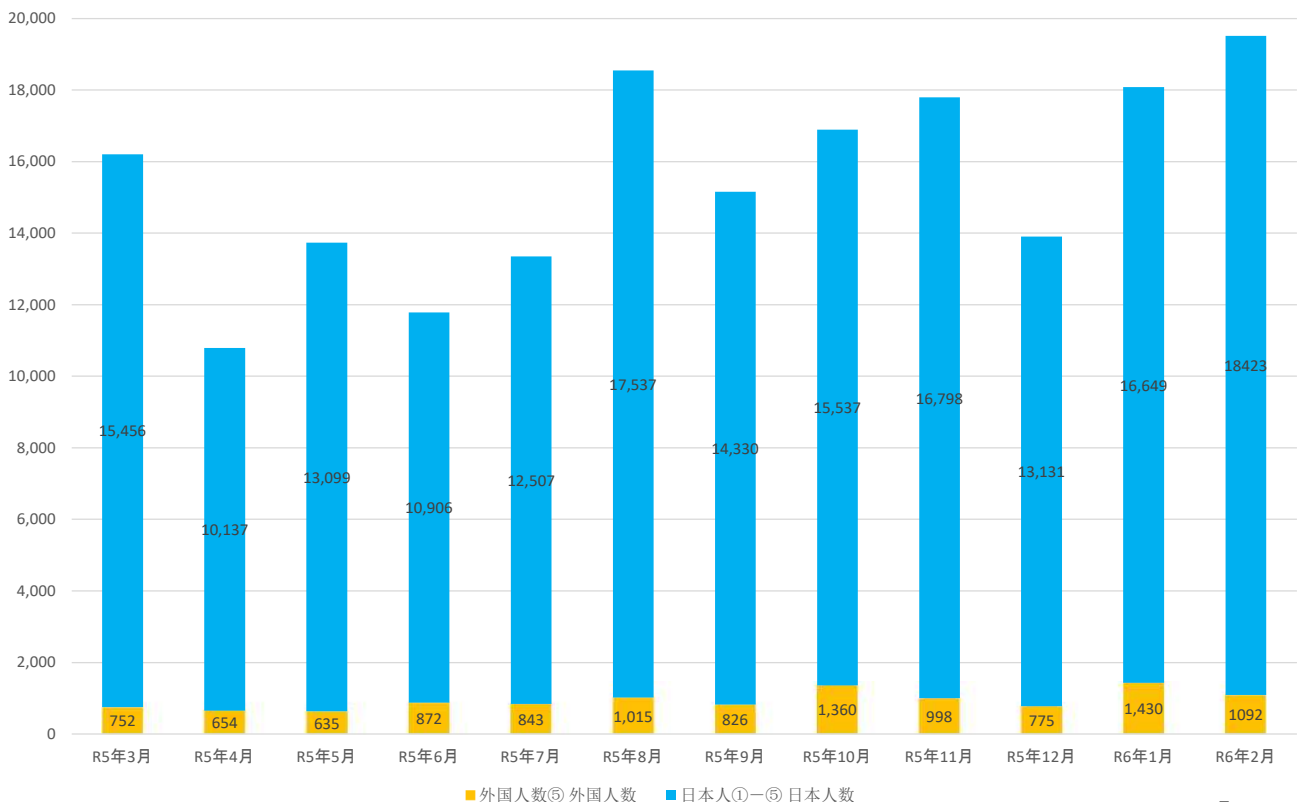
月	入館者数①	開館日数②	1日平均①/②	団体客数③	③/①*100	団体数④	④/③	英語圏	韓国語圏	簡体字圏	繁体字圏	外国人数⑤	⑤/①*100	日本人①-⑤
R5年3月	16,208	31	522.8	2,598	16.0	110	23.6	223	124	58	347	752	4.6	15,456
R5年4月	10,791	30	359.7	705	6.5	36	19.6	203	118	44	289	654	6.1	10,137
R5年5月	13,734	31	443.0	1,297	9.4	54	24.0	198	49	36	352	635	4.6	13,099
R5年6月	11,778	30	392.6	1,729	14.7	64	27.0	204	134	68	466	872	7.4	10,906
R5年7月	13,350	31	430.6	1,499	11.2	55	27.3	137	136	69	501	843	6.3	12,507
R5年8月	18,552	31	598.5	1,661	9.0	62	26.8	145	141	112	617	1,015	5.5	17,537
R5年9月	15,156	30	505.2	2,732	18.0	90	30.4	138	327	118	243	826	5.4	14,330
R5年10月	16,897	31	545.1	3,293	19.5	111	29.7	265	460	136	499	1,360	8.0	15,537
R5年11月	17,796	30	593.2	3,640	20.5	135	27.0	258	242	161	337	998	5.6	16,798
R5年12月	13,906	28	496.6	2,116	15.2	66	32.1	209	155	143	268	775	5.6	13,131
R6年1月	18,079	31	583.2	2,384	13.2	83	28.7	103	555	421	351	1,430	7.9	16,649
R6年2月	19,515	29	672.9	1,712	8.8	79	21.7	190	360	188	354	1,092	5.6	18,423
計	169,554	332	510.7	22,768	13.4	835	27.3	2,050	2,677	1,496	4,277	10,500	6.2	159,054

【33頁】

入館者数の推移（令和5年度 月別）

（令和6年3月1日現在）

（単位：人）



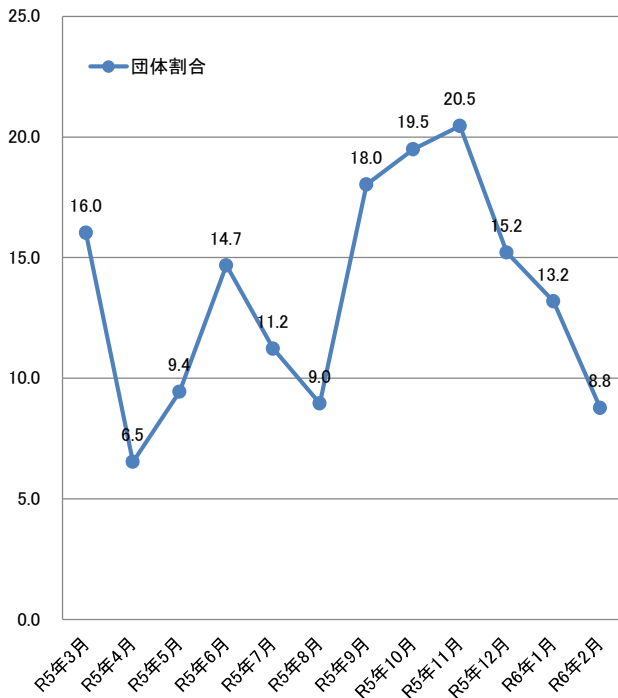
【34頁】

入館者状況（令和5年度／団体・外国人）

（令和6年3月1日現在）

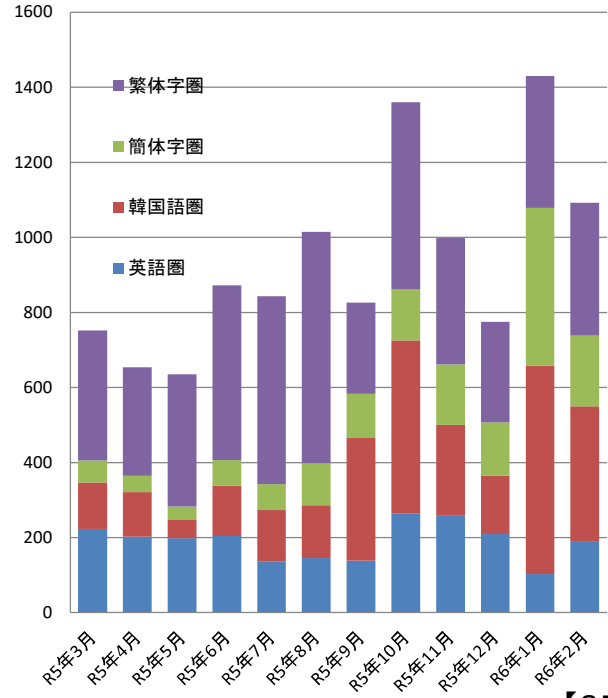
入館者に対する団体入館者の割合の推移

（単位：％）



外国人入館者の推移 （パンフレット配布数）

（単位：枚）



【35頁】

令和5年度最終予算(1/3)

行政的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館管理運営費	佐賀城本丸歴史館運営費	3,737千円	館の運営に要する経費 ○会議及び研修等職員旅費 ○博物館協会負担金 ○運営協議会開催費 ○外国語(中国語・韓国語)によるおもてなしに係る経費 等
	佐賀城本丸歴史館維持管理費	73,379千円	館の維持管理経費 ○修繕費 ○光熱水費 ○運営に係る各種委託料 等
佐賀城本丸歴史館資料整備諸費	佐賀城本丸歴史館資料整備諸費	2,422千円	資料の収集及び保管、公開に要する経費 ○資料の寄贈・寄託受入れに伴う経費 ○資料の保存に要する経費 ○博物館収蔵品管理システムの導入・運営経費 等
佐賀城本丸歴史館研究活動費	佐賀城本丸歴史館研究活動費	1,733千円	館の展示や教育普及、資料収集保存の活動の基盤とするために調査研究活動を実施する ○基本文献の収集や資料所在調査にかかる経費 等
佐賀城本丸歴史館常設展示費	佐賀城本丸歴史館常設展示費	4,007千円	常設展示に要する経費
		85,278千円	【対前年度比108.70%】

【36頁】

令和5年度最終予算(2/3)

政策的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館教育普及費	佐賀城本丸歴史館教育普及活動費	2,960千円	教育普及啓発事業に要する経費 ○イベント開催に係る経費 ○歴ゼミ講師謝金 等
	佐賀城本丸歴史館ボランティア活動費	1,860千円	ボランティアガイドに要する経費 ○ボランティア報償費 ○ボランティア保険 等
	佐賀城本丸歴史館普及啓発費	718千円	普及啓発活動費に要する経費 ○グッズ作成費 等
	文化振興基金積立金	5,529千円	文化振興基金への積立金に要する経費 ○来館者からの寄附金収入 ○図録・グッズ販売収入
佐賀城本丸歴史館管理運営費	佐賀城本丸歴史館広報誘客活動費	1,222千円	館に対する県民意識の高揚と文化観光施設として周知を図るための経費 ○館内案内や年間行事を周知するチラシ作成費 等
佐賀県人名辞典出版事業費	佐賀県人名辞典出版事業費	5,515千円	「佐賀偉人伝」、「佐賀県人名辞典」及び「佐賀城本丸クラシックス」の出版及び販売等に要する経費 ○原稿執筆、編集に要する経費 ○印刷製本に要する経費 等
佐賀城本丸歴史館施設設備整備費	佐賀城本丸歴史館施設整備費	3,949千円	館の施設整備に要する経費 ○防蟻処理工事、防犯設備機器更新、障子・襖張替え ○施設維持に要する修繕 等

【37頁】

令和5年度最終予算(3/3)

政策的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館企画展開催費	佐賀城本丸歴史館企画展開催費	49,722千円	没後150年特別展「江藤新平」開催に要する経費
		71,475千円	【対前年度比134.68%】

【38頁】

2 令和6年度の主な事業計画

展覧会(令和6年度／予定)

No	会期	会場	展覧会名	内容	
(1)	令和6年 3月15日～ 5月12日 【59日間】	御小書院 (特別展示室) ・外御書院	没後150年特別展 「江藤新平ー日本の礎を 築いた若き稀才の真に迫 るー」	令和6年(2024年)に江藤新平の没後150 年を迎えるにあたり、「人民のために」という信 念を貫いて明治日本の新たな国家づくりに尽 力した江藤の功績や人となりを紐解く。	
(2)	令和6年 7月19日～ 9月16日 【60日間】	御小書院 (特別展示室)	テーマ展「鍋島武芸帖」	江戸時代、勉学とともに武家が身に付けてお くべき素養であった武芸について、佐賀藩に 関する武具や武術書を紹介する。	
(3)	令和6年 11月15日 ～令和7年 1月13日 【60日間】	御小書院 (特別展示室)	佐賀城本丸歴史館 開館20周年記念 「佐賀藩の四季ー祭祀・ 慣習・年中行事ー」	開館20周年を記念し、佐賀藩の式典・祭祀・ 年中行事にまつわる資料を「繋がり」をテー マに展示する。会期中には20周年記念イベ ントを開催する。	
(4)	令和7年 3月14日 ～5月11日 【59日間】	御小書院 (特別展示室)	テーマ展 「鍋島直大と百武兼行 ふたりが見た明治」	「最後の佐賀藩主」であり、明治政府では要 職で活躍した鍋島直大と彼の側近を務め、日 本近代洋画の先駆者でもある百武兼行が、明 治という新たなる時代に何を見出し、どのよ うな未来を切り拓こうとしたのか資料や作品を 通じて探る。	

佐賀城本丸歴史館開館20周年記念 「佐賀藩の四季－祭祀・慣習・年中行事－」

概要	<p>本展覧会では開館20周年を記念して、佐賀藩の祭祀・慣習・年中行事にまつわる資料を展示する。</p> <p>現在私たちが行っている祭祀・慣習・年中行事の中には、江戸時代の人々も行っていたものがある。</p> <p>絵図や工芸品など中心に、佐賀藩における文化的営為がうかがえる資料を展示し、過去と現在の繋がりを感じていただくことで、佐賀の文化に対する県民の愛着と誇りをより強いものとしたい。</p>
会期	令和6年11月15日～令和7年1月13日 (60日間、予定)
会場	佐賀城本丸歴史館 御小書院(特別展示室)
主催	佐賀城本丸歴史館



【41頁】

佐賀城本丸歴史館開館20周年記念イベント

概要	開館20周年記念展示の会期中に周年記念イベントを開催する。
会期	令和6年11月頃 2日間を予定
会場	佐賀城本丸歴史館 外御書院・佐賀城内公園(北廊下・御座間周辺など)
目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 20周年という機会に、当館の魅力を改めて発信し、さらなる当館への認知度向上と来場者増加につなげる。 ○ 子どもをターゲットとした季節イベントと異なるイベントを実施することによって、通常では来場の見込めない層など、幅広い層の新規取り込みを目指す。

○イベント内容(現在検討中)

- 記念セレモニー
- 外御書院(一之間から四之間)を利用した来館者参加型企画
- 歴史的行事実施
- 館外を利用した夜型企画など
- 20周年記念ノベルティの配布



《イメージ》 笠懸、騎馬走行

【42頁】

ゴールデンウィークイベント(令和6年度／予定)

No	月日	イベント名	会場
1	5月5日(日・祝) 5月6日(月・振)	ワークショップ(※内容未定)	御座間
2	4月28日(日)	昔風写真撮影体験	一之間
3	4月29日(月・祝)	第231回歴史館ゼミナール 特別展記念シンポジウム「稀才・江藤新平の真に迫る」	県立美術館ホール
4	5月3日(金・祝)	甲冑体験	御座間
5	5月4日(土)	子ども着付体験	御座間



ワークショップ(※R5度実施風景)



昔風写真体験



甲冑体験

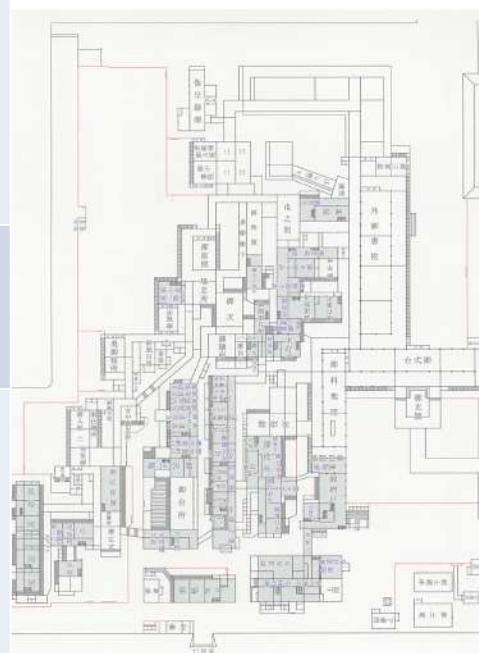


子ども着付体験

【43頁】

佐賀城本丸御殿に関する調査研究事業

経緯	平成29～30年度 本丸跡の発掘調査を実施 令和元～2年度 建物平面表示を整備 令和5年(2023年) 御座間・堪忍所が佐賀県重要文化財に指定
課題	御座間・堪忍所と棟続きの御小座や御寝所・泉水(庭園)など、藩主の日常生活や執政に関わる様子を十分には紹介できていない。
概要	御座間・堪忍所と棟続きの御小座や御寝所・泉水(庭園)など、藩主の日常生活や執政空間に関する調査を行う。 (1)歴史資料調査 御座間等に関する文献資料の収集整理及び分析 (2)建物調査 御座間・堪忍所に残る痕跡から周囲の部屋との接続・位置関係を調査。あわせて類例建物の調査も実施。



【44頁】

佐賀の歴史・文化に関する研究会

事業目的	佐賀の歴史文化に関する調査研究を促進し、最新の研究成果を広く公表し活用を図るとともに、佐賀県の学芸員及び文化財専門職員の資質向上並びに学術交流ネットワーク形成を図る。
期間	令和6年度～ ※第1期は令和6～8年度を予定
構成	佐賀県(佐賀城本丸歴史館、県立博物館・美術館、九州陶磁文化館、名護屋城博物館、県立図書館、文化課、文化財保護・活用室等)の学芸員等 佐賀大学(地域学歴史文化研究センター)及び徴古館(鍋島報効会)の研究者・学芸員とも協力・連携して活動。
事務局	佐賀城本丸歴史館

【45頁】

江藤新平復権事業

現状	明治国家の主要な法制度で江藤が関わっていないものはないといえるほどであるが、佐賀戦争における悲運の影響からか、その業績に対して正当な評価がなされておらず、県内でも知られていない。
概要	江藤新平の没後150年を迎えるにあたり、国家の根幹である法制度などを策定した江藤新平の偉業をわかりやすく伝えるため、インパクトある映像を作成し、県内外に広く発信する。
主催	佐賀城本丸歴史館



【46頁】

令和6年度の予算要求状況(1/3)

行政的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館管理運営費	佐賀城本丸歴史館運営費	4,284千円	館の運営に要する経費 ○会議及び研修等職員旅費 ○博物館協会負担金 ○運営協議会開催費 ○外国語(中国語・韓国語)によるおもてなしに係る経費 等
	佐賀城本丸歴史館維持管理費	74,623千円	館の維持管理経費 ○修繕費 ○光熱水費 ○運営に係る各種委託料 等
佐賀城本丸歴史館資料整備諸費	佐賀城本丸歴史館資料整備諸費	2,686千円	資料の収集及び保管、公開に要する経費 ○資料の寄贈・寄託受入れに伴う経費 ○資料の保存に要する経費 ○博物館収蔵品管理システムの運営経費 等
佐賀城本丸歴史館研究活動費	佐賀城本丸歴史館研究活動費	6,705千円	館の展示や教育普及、資料収集保存の活動の基盤とするために調査研究活動を実施する ○基本文献の収集や資料所在調査に要する経費 ○佐賀城本丸御殿調査事業に要する経費 ○歴史文化研究会事業に要する経費 等
佐賀城本丸歴史館常設展示費	佐賀城本丸歴史館常設展示費	2,485千円	常設展示に要する経費
		90,783千円	【対前年度比106.46%】

【47頁】

令和6年度の予算要求状況(2/3)

政策的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館教育普及費	佐賀城本丸歴史館教育普及費	11,083千円	教育普及啓発事業に要する経費 ○イベントに係る経費 ○歴ゼミ講師謝金 等
	佐賀城本丸歴史館ボランティア活動費	2,620千円	ボランティアガイドに要する経費 ○ボランティア報償費 ○ボランティア保険 等
	佐賀城本丸歴史館普及啓発費	2,298千円	普及啓発活動費に要する経費 ○グッズ作成費 等
	文化振興基金積立金	3,951千円	文化振興基金への積立金に要する経費 ○来館者からの寄附金収入 ○図録・グッズ販売収入
佐賀城本丸歴史館管理運営費	佐賀城本丸歴史館広報誘客活動費	2,195千円	館に対する県民意識の高揚と文化観光施設として周知を図るための経費 ○館内案内や年間行事を周知するチラシ作成費 等
佐賀県人名辞典出版事業費	佐賀県人名辞典出版事業費	6,730千円	「佐賀偉人伝」、「佐賀県人名辞典」及び「佐賀城本丸クラシックス」の出版及び販売等に要する経費 ○原稿執筆、編集に要する経費 ○印刷製本に要する経費 等

【48頁】

令和6年度の予算要求状況(3/3)

政策的経費

事項名	細事項名	予算額	内容
佐賀城本丸歴史館施設整備費	佐賀城本丸歴史館施設整備費	17,293千円	館の施設整備に要する経費 ○外装木部塗装改修工事、館内漆喰及び鉄扉取替、障子・襖張替え ○施設維持に要する修繕 等
	佐賀城本丸歴史館施設整備費(FM関係)	849千円	施設別長期保全計画に基づいた工事に要する経費 ○トイレ改修 ○給湯室改修
佐賀城本丸歴史館企画展開催費	佐賀城本丸歴史館企画展開催費(2023推進費)	8,027千円	江藤新平没後150年特別展開催に要する経費
江藤新平復権事業費	江藤新平復権事業費(2023推進費)	7,856千円	江藤新平に係わる映像の企画及び制作等に要する経費
		62,902千円	【対前年度比88.01%】